

秋田県消防協会大仙仙北 美郷支部消防訓練大会

7月18日、大仙市雄物川河川敷で、秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会が行われました。
当日は、2市1町の各大会で勝ち上がった上位分団が出席し、ポンプ操法と規律訓練で競い合いました。
仙北市からは、小型ポンプ操法の部に第8分団、第9分団、第10分団が、規律訓練の部には、第7分団、第8分団、第9分団がそれぞれ出場しました。



小型ポンプ操法の第10分団（上）と規律訓練の第8分団（下）。好成績を収めました。



【小型ポンプ操法の部】▽3位・第10分団▽6位・第8分団▽14位・第9分団
【規律訓練の部】▽3位・第8分団▽4位・第9分団▽8位・第7分団

仙北市の結果は、以下のとおり。

高齢社会を明るく元気に暮らそう

メディカル・サイエンスカフェ・ネクストin 仙北市

7月14日、秋田大学の教授による公開講演会や自由に意見交換するイベントが角館交流センターで行われました。
秋田大学の澤田賢一学長の進行のもと、高齢化社会を元気に暮らしていけるように3人の教授が「介護が必要になっても最後まで自分らしく生きること」、「注意とは何か」、「事故を避けるためにできること」について詳しく解説しました。
参加した市民や角館高校の生徒など約150人は、貴重な話に興味深く耳を傾けていました。



参加者はカフェスタイルのゆっくりとした雰囲気の中で、高齢社会を明るく過ごすヒントを学びました。

目標に向かって努力することを学ぶ

将来を思い描く夢の教室

現役や引退したスポーツ選手らが派遣される日本サッカー協会主催の「夢の教室」が7月7日から10日にかけて市内7小学校の5年生を対象に行われ、7日は、白岩小と松木内小の児童25人が、元体操選手の池谷直樹さんの授業を受けました。
池谷さんはバルセロナ五輪体操個人床の銀メダリスト、池谷幸雄さんの弟で、1997年全日本選手権で種目別鉄棒で優勝した実績を持ちます。
授業の前半は、体育館でボールを使ったゲームで体を動かす、後半は教室に移動し、自身の経験を踏まえ「目標を決めて努力する大切さ」を話しました。



池谷先生の授業を真剣に聞き、自分の夢を考えました（上）。元体操選手の本領発揮！逆立ちのパフォーマンスに児童らは大喜び（右）。



千葉薫さんが秋田県生涯学習 奨励員協議会会長賞を受賞



仙北市生涯学習奨励員の千葉薫さん（生保内字中村）が、平成27年度秋田県生涯学習奨励員協議会会長賞を受賞しました。
千葉さんは、長年にわたり生涯学習奨励員として、地域の学習活動の啓発、公民館事業や地域行事等へ積極的に協力するなど、生涯学習活動の推進に尽力されたことが評価され、今回の受賞となりました。

交通死亡事故ゼロのまちをめざして

365日達成で仙北市へ顕彰状

7月15日、仙北市が交通死亡事故ゼロ365日を達成したとして、秋田県警察本部長から顕彰状が贈られました。
仙北市では昨年7月2日以来、死亡事故が発生しておらず、平成25年8月に続き今回で4回目となります。
仙北市役所田沢湖庁舎で行われた伝達式では、伊藤卓哉仙北警察署長から門脇市長へ顕彰状が手渡されました。
門脇市長は、「観光客が多い中、これからも死亡事故ゼロを継続したい」と話しました。



伊藤仙北警察署長（右）から顕彰状を受け取る門脇市長（左）。観光地の仙北市にとっては大きな価値。今後も継続します。

寄り添って思いを聞くことが大切

秋田県自殺予防キャラバンが来庁

県の自殺予防市町村キャラバンが7月14日、市役所田沢湖庁舎を訪れました。
このキャラバンは今年初めて実施されたもので、自殺予防の取り組み強化を目的に、県担当者が8月まで全市町村を回り、意見の集約をして今後の対策に生かしていくものです。
この日は、佐竹敬久県知事からのメッセージ伝達を受けた後、県・市の担当者に加え、市内の傾聴ボランティア「えくぼの会」の会員も参加し、予防に対する意見交換を行いました。



佐竹敬久県知事から「一層きめ細かな自殺予防対策を心がけましょう」とのメッセージが仙北市へ伝達されました。

日本民藝夏期学校で理解深まる

民藝を通じ仙北市の魅力堪能

7月17日から19日の3日間、角館榊細工伝承館を会場に、日本民藝夏期学校（日本民藝協会等主催）が開催されました。
この夏期学校は、「民藝」の本旨を伝えるための勉強会を合宿形式で全国各地で行なっているもので、角館会場の今回は、県内外から約80人が参加しました。
参加者は、民藝運動の創始者である柳宗悦氏と角館の関係についての講座や、榊細工やイタヤ細工、白岩焼の体験学習や作品の鑑賞などで、民藝についての理解を深めました。

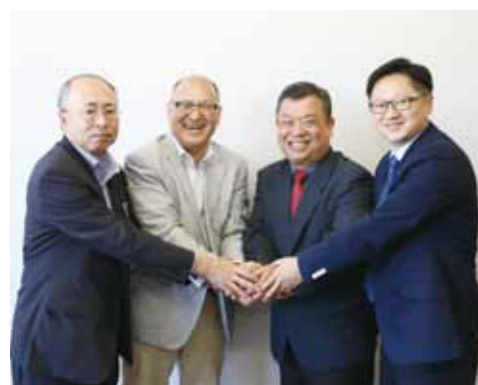


参加者は伝統の技や郷土芸能、古い町並み散策などを通じて、仙北市の魅力堪能していました。昭和48年から行われている夏期学校は、延べ100回以上開催されています。

10月に角館高校と姉妹校締結へ

国立台湾師範大学附属高級中学が訪問

7月7日、国立台湾師範大学附属高級中学（台北市）の先生が市役所田沢湖庁舎を訪れました。
同高級中学（日本でいう高校）は、10月に角館高校と姉妹校締結を控えており、今回は視察と事前打合せで訪れました。
一昨年、修学旅行で仙北市を訪れた縁もあり、この日をとても楽しみにしていたようです。
田沢湖と澄清湖、玉川温泉と北投温泉など、台湾とは深いつながりがある仙北市。いよいよ姉妹校の締結へと、順調に交流の輪が広がっていきそうです。



国立台湾師範大学附属高級中学の洪仁進校長（右から2番目）と学務主任の李啓龍先生（右）。門脇市長、倉橋副市長とつちり握手し交流の絆が深まりました。